



西本さん



横田さん

ミハラシニア編集室ママライター(三原歴7年と16年)が行く

未来へつなぐ大切な祭

コロナ禍で祭りの中止が相次ぎますが、祭りに込められた意義や思いは途切れることなく受け継いでいきたい! 市民ママライターが、市内の祭り関係者を直撃取材していきます。



まな板に金箸を刺すので、箸が折れることもありました。よりきれいか? 亀の形に見えるか? と毎年少しずつ工夫をしています。

包丁方33年の大ベテラン
玉浦 清司さん

「三原市公式note」
で記事掲載中!



御当は、慶長(1598)年の『稻荷御当三之覺』にも残る歴史の古い例祭です。包丁を使って鯛をさばくのが有名なお祭り、とおぼろげに記憶していた記者は、「おとつ」と聞いて「御刀?」と勘違いしていたのですが、お話を伺うと、『御当』とは久井に古くからある御当田という田んぼと、それを守ってきた御当主からきているそう。

祭りの見どころである鯛さばきは『包丁方』の仕事。鯛に手を触れずに金箸と包丁のみを使ってさばき『亀の入れ首』と『鶴の羽替え落とし』の形に整えます。しかし、資料が残っておらず、先人の形をまねて継承しているそう。御当は全国的にも類を見ない貴重な祭事として、国の選択無形民俗文化財になっています。



Vol.1

久井稲室神社「御当」

開催時期 10月19日に近い日曜日

特徴 鯛に手を触れず金箸と包丁のみでさばく秋の例祭

包丁のみでさばく秋の例祭

慶長から伝わる歴史の古い例祭

金箸と包丁で鯛を亀と鶴の形に整える

Hella! MIHARA

三原市で初めてとなる国際交流員(CIR)が着任します。



国際交流員
横川あいさん

Aloha! 三原市の皆さん、はじめまして

10月から市の国際交流員として働く横川あいです。私の出身はハワイのオアフ島です。11歳まで日本で育って、ハワイに住み始めました。ハワイでは、カヌーとハイキングをするのが好きでした。三原でもアウトドアアクティビティをやってみたいです。また、日本語と日本の文化を学びたいと思っています。国際交流員として、三原に住む外国人の方々の生活を、快適にできるようサポートしていけたらうれしいです。よろしくお祈りします。

国際交流員とは?

CIR(Coordinator for International Relations)と呼ばれ、国際交流や国際理解教育の場に参加し、地域の国際化や多文化共生を進める業務に従事します。

●外国人相談窓口(市役所本庁4階)
問 経営企画課 (TEL) 0848-67-6270 (FAX) 0848-64-7101

市長

広報みはら

新しい広報みはらにかける思いと期待

広報みはらが、今月号からリニューアルしました。私もコラムを毎月書かせていただきます。テーマはさまざまですが、率直な思いをつづっていきますので、ご期待ください。さて、広報みはらは、昔から多くの市民の皆さんに愛されています。「広報みはらをいつでも読めるように、一カ月間ずっと自宅の机の上に置いていきます」という声を、みらいトーク(市民と市長との対話会)でお聞きしました。毎月大切にお届けしています。

私たちにとつて、とてもうれしい声でした。ちなみに、私も広報みはらとの思いがあります。三原にUターンした翌年の平成31年2月号に教育団体の代表としてご紹介いただき、「広報みはらで見たよ!」と多くの人の声を掛けていただきました。新しくなった広報みはらですが、これからも市民の皆さんと一緒に作りあげていきたいと思っていますので、「あなたが主役」の広報みはらをよろしくお祈りします。

